

専門領域の壁を越え、幅広いキャリア形成を支援する

# 大学院教育支援機構教育コース

2023年  
4月開講

## 産学協同教育コース

起業マインド・アントレプレナーシップを  
発揮して社会に新たな価値を創出する

自らが専門領域で創造した研究成果を大学や研究機関だけでなく広く社会に展開するために必要な、起業マインド、知財、資金調達、起業を成功に導く法律、ファイナンスの知識を学ぶとともに、ベンチャー企業創業者・大手企業役員との討議により企業戦略や外部連携の実例にも触れる。また、実際に起業を体験する実践ワークショップや、研究インターンシップへの挑戦も歓迎する。

## 多様化する社会ニーズに応える人材を育成

## 教育能力向上コース

学生の主体的な学びを促す授業設計能力・運営能力を  
身に付け大学教員としてのキャリアを実現する

大学教員を目指す大学院生の教育力向上に対して社会からの要請が高まるなか、自らが専門とする研究内容を初学者や異分野を専門とする学生にも分かりやすく伝える能力を身に付けるための講義・演習、実践授業や模擬授業に取り組む。また、学生の健康や安全、人権、障害等への意識を高める講義を受講する。

## 大学院教育支援機構教育コース

大学院共通科目群・大学院横断教育科目群のうちから  
各コースで指定された科目を履修、セミナー等に参加

必要な科目の単位修得、  
セミナー等の日程終了

コースの修了認定、総長名の  
コース修了認定書を授与

### 大学院共通・横断教育について

社会の高度化や多様化、グローバル化の進展等に伴って高まる人材養成のニーズに応え、大学院生が専門領域を超えて様々な分野で活躍するための知識や技能を提供するため、大学院教育支援機構では、大学院共通科目群及び大学院横断教育科目群を開講しています。

### 大学院共通科目群

すべての大学院生の共通基盤科目

- ・社会適合分野
- ・情報テクノサイエンス分野
- ・コミュニケーション分野

### 大学院横断教育科目群

研究科等を横断する学際領域において、他研究科等の大学院生にも公開し履修を推奨する科目

- ・人文社会科学系
- ・自然科学系
- ・統計・情報・データ科学系
- ・健康・医療系
- ・キャリア形成系
- ・複合領域系

各科目の詳細は  
QRコードから  
ご確認ください。



# 産学協同教育コース

対象学生 修士課程及び博士課程の大学院生・1期20-30名程度 (定員超過する場合は抽選を行う場合がある)

## I 産学協同教育コース(ベーシック)

必修科目および選択科目よりあわせて7単位を修得すること

必修科目	単位	選択科目	単位
研究倫理・研究公正 (Research Ethics and Integrity)	0.5	キャリア・アントレプレナーシップ論	1
知的財産	0.5	企業の社会的責任 -ESGの取組について-	1
アントレプレナーシップ入門	0.5		
アントレプレナーシップ演習	2		
ベンチャーファイナンス入門	0.5		
企業法務概論	2		

※「キャリア・アントレプレナーシップ論」は科目ではなく、産官学連携本部イノベーションマネジメントサイエンス起業・教育部が提供するセミナーである。履修方法等詳細は産官学連携本部のウェブサイト等で確認すること。これ以外の科目はすべて大学院共通科目群として開講する科目である。  
※Ⅱ.①及びⅡ.②は原則としてI.ベーシックを修了した者を対象とする。履修方法等詳細は大学院教育支援機構まで問い合わせること。

身に付けた知識を実践し発展させる

## II ① 京都大学技術イノベーション事業化コース ～実践ワークショップ～

技術シーズの用途開発、市場調査等を行い、ビジネスプランを実際に作成し、起業を体験する。有望な取組にはコース修了後もメンタリングによるサポートを継続し、更に本学イノベーションキャピタル株式会社ファンドから投資などの支援を受けられる可能性もあり。

協力：  
産官学連携本部イノベーションマネジメントサイエンス起業・教育部  
<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/ims/>



## II ② C-ENGINE 中長期 研究インターンシッププログラム

就職や採用だけを目的とするインターンシップとは一線を画し、原則として2か月以上のインターンシップを実施。企業での研究現場を一定期間体験することで、大学では得られない様々な「気づき」を得て研究者として更に成長できる素地を築く。

協力：  
一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会(C-ENGINE)  
<https://www.c-engine.org/>



### 修了の認定・資格

上記を全て履修した者には、総長名の修了認定書を授与する。

ただし、I. ベーシック、II. ①実践ワークショップ 又は II. ②インターンシップ のそれぞれの区分でも個別に修了認定書を授与することができる。

# 教育能力向上コース

対象学生 修士課程及び博士課程の大学院生・1期20-30名程度 (定員超過する場合は抽選を行う場合がある)、ただしTAPLの人数制限は行わない

## I 大学教員になる人のための学生支援論 1単位

学生の権利侵害にならない(ハラスメントにならない)関わり方、自らの人権も相手の人権も尊重するコミュニケーションのあり方、教室や研究室で問題を抱えた学生に早期に気づき適切に対応するスキル、障害のある学生への合理的配慮について学ぶ。

- A オンライン授業(オンデマンド型)
- B 教室における講義
- C 教室における演習

TAS準備講座:TAPL(Teaching Associate Preparing Lectures)

e-learning[全学TA研修] + A 左記をTAPLとする  
e-learning[TAS研修]

※【TAS準備講座】を修了した者はTAS(Teaching Associate)として採用され、活動することができる。  
※TASは、TAの上位職としてより高度で自律的な教育補助業務に携わるもので令和5年度中の制度化を予定。

## II 教育デザイン基礎講座、実践授業・模擬授業 1単位

教育デザイン基礎講座
ガイダンス
講義 オンライン授業(オンデマンド型) 大学教育の概要について
教育法・教授法について
評価について
講義・演習 オンライン授業(同時双方向型) 授業案・シラバス案の作成について
授業外学習・事前課題
授業・科目デザイン実習

### 実践授業・模擬授業 ①～④のいずれか

- ① 実践授業  
全学共通科目 又は 学部専門科目の入門的な内容を扱う科目のうち1コマを実施
  - ② シラバス紹介・模擬授業&検討会  
教員採用の現場を想定したシラバス紹介、模擬授業及び検討会を実施
  - ③ 他大学の非常勤講師としての授業  
在学中に他大学の非常勤講師として授業を実施
  - ④ 高校生対象授業(例年、9～12月に実施)  
全国の高等学校に「学びコーディネーター」として派遣され高校生や高校教員向けに授業を実施
- 自身が実施する授業以外に、他の履修生が実施するものを参観し、それぞれに対するフィードバック・ディスカッションを行い、授業改善に繋げる。

まとめ・本演習科目で得られた成果をまとめ発表する

大学院共通科目群の科目として開講する ①【大学教員になる人のための学生支援論(1単位)】+ ②【教育デザイン基礎講座、実践授業・模擬授業(1単位)】を修得すること  
本コースを履修する者はe-learning[全学TA研修]及び[TAS研修]を必ず受講する必要がある。e-learning[TAS研修]は令和5年度中に新規開設予定

### 修了の認定・資格

コースを構成する上記2科目・2単位を修得した者には、総長名の修了認定書を授与する。

